

令和5年10月高等裁判所事務局長事務打合せ結果概要

総合コミュニケーションツールの導入により、意見交換の手段等が多様化・柔軟化し、これを契機とした事務の合理化・効率化、標準化の可能性が広がりつつあるところ、これらを促進するための取組や隘路とそれへの対応策について議論がされた。

また、デジタル化が進展する中、裁判所全体に関わる複数の中長期的施策を同時並行的に推進していかなければならないところ、下級裁判所の職員を含む全職員の理解を得て、裁判所全体でこれらに取り組み、推進していくために、最高裁判所と高等裁判所の果たしていくべき役割について議論がされた。